



## News Release

報道関係者各位

2006年12月6日  
中間法人 知的財産教育協会

### 2006年第3回 知的財産検定 検定実施結果公表

—累計受検申込者数が2万人を突破。団体受検採用団体は過去最多の70団体—

中間法人 知的財産教育協会（東京都港区、代表理事：棚橋祐治）は、「2006年第3回知的財産検定（11月5日（日）実施）」の実施結果を公表しました。

#### ■累計受検申込者数が2万人を突破

知的財産検定は、第1回（2004年3月実施）開始より今回2006年第3回（2006年11月実施）までで、累計受検申込者数が2万人を突破しました（22,063名。図表1参照）。今回より、従来の2級・1級（特許）に引き続き、2級科目試験の全3科目（「特許」「意匠・商標」「著作権・不競・独禁等」）実施を開始し、知的財産実務経験を豊富に持つ方から知的財産について初めて学ぶ方まで、幅広い受検者層のニーズに応える制度が整ったことにより、受検者の裾野も広がった結果となりました。

また、検定開始当初は、企業の知的財産関連部門の方を中心として受検されてきましたが、回数を経ることに様々な部門・職種の方の受検が増えてきており、今回の2級および2級科目試験では、研究開発・エンジニア部門の方による受検の多さが顕著に現れ（図表3参照）、また、女性比率は、2級科目試験では30%を超える結果となりました（図表4参照）。

#### ■団体受検採用団体は過去最多の70団体

知的財産検定では、2005年第1回より、企業や大学等団体ごとに受検申込を受け付ける「団体受検」を実施していますが、今回、過去最多の70団体の企業・大学が、団体受検を採用しました（図表5参照）。部署全体および個々人のスキルアップのために知的財産検定受検を活用すべく、「知的財産関連部門全員の受検を義務付けている」「知的財産検定の受検対策勉強会を自社内で定期的に開いている」といった団体の声も多く報告されています。また、従来どおり各種製造業の受検を中心としながら、新たにコンテンツ系業種の企業の団体受検採用も増えており、意匠、商標、著作権分野といった「知的財産の知識の中でも日常業務にすぐ活かせる部分の知識を身につけたい」と考える団体の受検も増えています。

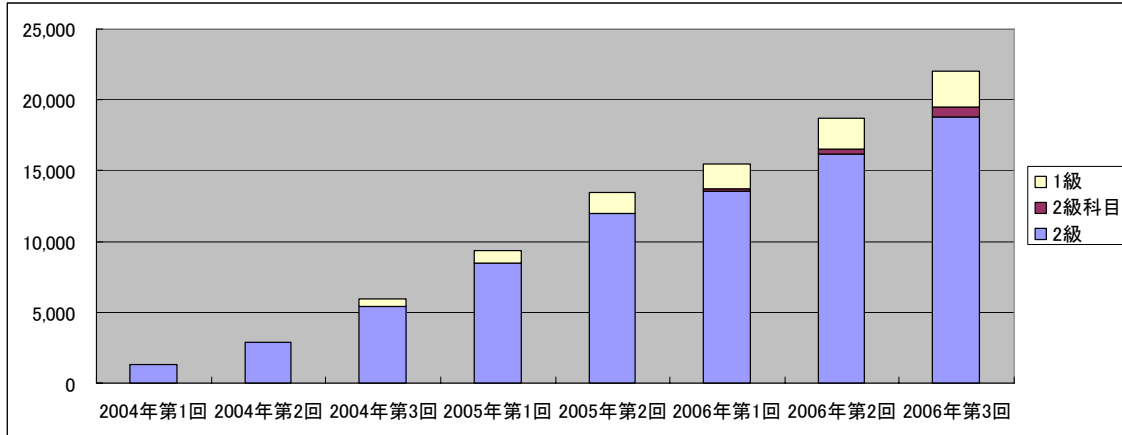
また、大学・大学院の団体受検も増加。知的財産学部や知的財産を学ぶ課程を持つ大学・大学院も増えており、知的財産検定受検を、「学習の集大成を測るツールとして活用する」「検定合格を就職活動に活用する」といったケースも報告されています。

今後、ますます幅広い企業・大学等による知的財産検定の団体受検の活用が期待されます。



## 【2006年第3回 知的財産検定・検定実施結果データ】

図表1 2004年第1回～2006年第3回までの受検申込者数累計



図表2 2006年第3回 合格者数・合格率

	1級(特許)	2級	2級科目試験		
			特許	意匠・商標	著作権・不競・独禁等
合格者数/受検者数	17人/343人	952人/2,377人	139人/224人	103人/150人	74人/112人
合格率	5.0%	40.1%	62.1%	68.7%	66.1%

※1級合格者は認定者のみ(評価者は含まない)

図表3 2006年第3回 申込者の属性(職業)

	1級(特許)		2級		2級科目試験	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体
① 知財	52.0%	85.9%	20.5%	23.3%	20.9%	3.8%
② 法務	1.0%	0.0%	2.8%	1.6%	1.5%	0.0%
③ 研究開発・エンジニア	18.1%	9.9%	21.0%	32.4%	17.6%	73.1%
④ プロジェクト・マネージメント	1.3%	0.0%	2.2%	1.6%	2.1%	3.8%
⑤ 営業	1.7%	0.0%	4.7%	1.1%	5.0%	0.0%
⑥ 企画	3.4%	1.4%	4.4%	2.0%	3.8%	3.8%
⑦ 人事・教育	1.0%	0.0%	1.4%	1.2%	1.8%	0.0%
⑧ 制作	0.3%	0.0%	0.9%	0.2%	1.2%	0.0%
⑨ 法律事務所(弁護士等)	0.7%	0.0%	0.4%	0.0%	0.6%	0.0%
⑩ 法律事務所(弁理士等)	3.0%	0.0%	0.9%	0.0%	3.8%	0.0%
⑪ 学生	4.0%	1.4%	16.9%	26.0%	16.5%	0.0%
⑫ その他	11.7%	0.0%	19.0%	6.8%	19.4%	13.5%
不明	1.7%	1.4%	5.2%	3.9%	5.9%	1.9%

図表4 2006年第3回 申込者の属性(平均年齢・男女比)

	1級(特許)	2級	2級科目試験
平均年齢	41.8歳	33.8歳	33.9歳
男女比	87.8%/12.2%	77.3%/22.7%	69.9%/30.1%



図表5 2005年第1回～2006年第3回までの団体受検申込者・団体数

	2005年第1回	2005年第2回	2006年第1回	2006年第2回	2006年第3回
1級(特許)	41人/9団体	62人/9団体	27人/5団体	77人/10団体	71人/14団体
2級	629人/41団体	853人/37団体	134人/10団体	573人/31団体	645人/48団体
2級科目試験	-	-	8人/1団体	57人/3団体	52人/8団体
合計	670人/50団体	915人/46団体	169人/16団体	707人/44団体	768人/70団体

＜2006年第3回の主な団体受検企業・大学＞※50音順

旭化成ライフ&リビング株式会社、味の素株式会社、株式会社アドバンテスト、アルパイン株式会社、石川島播磨重工業株式会社、市光工業株式会社、株式会社内田洋行、エリエールホームペーパー株式会社、エリエールペーパーテック株式会社、大倉工業株式会社、大阪工業大学大学院知的財産研究科、国立大学法人大阪大学、大宮製紙株式会社、金井重要工業株式会社、京セラ株式会社、鹿児島国分工場、株式会社クレハ、学校法人國學院大學、四国大学、シャープ株式会社、昭和電線ビジネスソリューション株式会社、住友重機械工業株式会社、住友電工知財テクノセンター株式会社、住友電装株式会社、JUKI株式会社、ソフトバンクBB株式会社、ダイオーペーパーコンバーティング株式会社、大成製紙株式会社、大日本スクリーン製造株式会社、TDK株式会社知的財産センター、獨協大学、国立大学法人名古屋工業大学、バイオニア株式会社、株式会社パテントビューロ、日立コンピュータ機器株式会社、株式会社プロパティ、ホーユー株式会社、株式会社松下電工知的財産センター、三菱マテリアル株式会社、ライツ株式会社ほか多数。

※2006年第3回の詳細な実施データはこちら⇒ <http://www.ip-edu.org/exam/data/kekka061105.pdf>

■次回検定実施日は、2007年3月11日(日)(臨時回)

「2007年第1回知的財産検定」は、受検機会の増加のニーズに応え、通常回の7月・11月実施に加え、「臨時回」として3月11日(日)に実施します。

【2007年第1回(臨時回) 実施概要】

■個人受検■

【検定実施日】 2007年3月11日(日) 【受検地】 東京・大阪

【実施試験種】 1級(特許)・2級 ※臨時回のため、2級科目試験(1科目)(2科目)は実施しません。

実施試験種	問題数	制限時間	受検料(税込)		
			Web申込	郵送申込	16,800円
1級(特許)	60問	180分	15,750円	16,800円	16,800円
2級	60問	90分	7,875円	8,925円	8,925円

【申込期間】 Web申込:2006年12月4日(月)～2007年2月8日(木)24:00

※郵送申込は、2月6日(火)事務局必着。1級(特許)は、12月18日(月)から申込受付開始。

※個人受検の実施概要に関する詳細はこちら⇒ <http://www.ip-edu.org/exam/j-gaiyou.html>

■団体受検■

【検定実施日】 公開会場:2007年3月11日(日)

非公開会場:2007年3月12日(月)午後または3月13日(火)のうち、任意の時間帯

【申込期間】 2006年12月18日(月)～2007年1月30日(火)事務局必着

※団体受検の実施概要に関する詳細はこちら⇒ <http://www.ip-edu.org/exam/exam-houjin.html>

当協会では、知的財産に関する知識の普及と啓蒙を活動趣旨としています。本検定がより多くの方に活用され、国が推進している知財人材育成によりいっそう貢献できるものになるよう努めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

知的財産教育協会 検定運営事務局 広報担当:安場

E-mail: support@ip-edu.org TEL: 03-3438-2147 FAX: 03-3438-2148

知的財産検定 URL: <http://www.ip-edu.org/exam/index.html>